

1 自己評価及び外部評価結果

(※外部評価はユニット別ではなく事業所全体のものです)

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3070101518		
法人名	社会福祉法人 紀三福祉会		
事業所名	紀三井寺苑グループホーム 【ユニット名: I 号館】		
所在地	和歌山県和歌山市紀三井寺617-3		
自己評価作成日	平成27年1月6日	評価結果市町村受理日	平成27年3月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/30/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyouCd=3070101518-00&PrefCd=30&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人和歌山県認知症支援協会		
所在地	和歌山市四番丁52 ハラダビル2F		
訪問調査日	平成27年1月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気作りと利用者とのコミュニケーションを大事にし、家族様とも積極的に関わりを持ち信頼関係を築けるように努めています。一日一日を大切にしその人らしく過ごして頂けるように、職員全員で情報の共有に努めています。又、利用者・家族様にとって居心地の良い環境作りを心掛けています。自分で出来る事はして頂くように取り組み、機能低下防ぐように支援しています。その人に合った気分転換を図れるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

同法人の特別養護老人ホームと同敷地内にある2棟の平屋のグループホームである。利用者一人ひとりがその人らしく過ごせるよう取り組み、ホーム内には静かなゆったりとした空気が流れている。法人の事業所合同の夏祭りや子供達とのふれあい教室等の行事、地域の祭り等で、地域の人々との交流がなされている。毎月研修を行い職員の介護、医療技術の向上に力を入れ、職員は笑顔で声掛けして利用者一人ひとりの持てる力を発揮できるよう熱心に取り組んでいる。時には外食に出かけたり、庭に出て外気に触れながら食事を楽しむ等の工夫も取り入れて、利用者の日々の暮らしを支えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

(※外部評価はユニット別ではなく事業所全体のものです)

自己 自己	外部 外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ミーティングでは理念に基づき入居者のケアについての話し合いを行っている。又、毎月目標を決め実践に取り組んでいる。	理念の中の「その人らしく」を職員間で共有できるよう話し合い、利用者が地域と繋がりを 持っていきたいと暮らせるよう、より良い介護の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所主催のふれあい教室、夏祭り等に参加される地域の方との交流に努めています。秋祭りには神輿を見せに来てくれている。	近隣の農家の人と馴染みの関係ができていて散歩中に出会って野菜をもらうこともある。地域の行事や事業所主催のイベントへの参加は地域の子供達とふれあう機会となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方や家族様にデイサービス等の介護教室参加を呼びかけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域包括センターの職員や家族様、民生委員と意見交換しサービス向上に繋げている。	参加者が集まりやすいように、曜日を変えたり、家族会の後で行うなど工夫している。会議に出された意見は職員間で情報を共有してサービスの向上に活かせるよう務めている。	防災などの、地域に関係する話題など、時にはテーマを設けて地域の住民や、自治会の意見を集める試みにも期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事務連絡や報告以外に行政の繋がりは無いが、パンフレットを持ち込んだり等の努力はしている。	運営推進会議の報告や写真入の行事予定表等を持参して、日頃の事業所の様子を伝え、連携に繋げるよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の鍵をかけずにセンサーを設置し安全に配慮しながら自由な暮らしを支援している。	「目配り、気配り、声かけ、気づき」を心掛け利用者を不安にさせない声かけに取り組んでいる。心身が不安定な利用者にはさりげなく職員がついて見守るよう配慮している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員が虐待防止に努めている。		

【事業所名】紀三井寺苑グループホーム【ユニット名：I 号館】

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在利用されている方はいないが、家族様には必要に応じ制度がある事を説明しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に説明を行い、契約時には再度説明し、家族様の要望を伺ってます。また、事業所のケアに関する考えや取り組みについての話をしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会等で意見や要望を引き出すように努めている。	運営推進会議や家族会等、意見を出せる場を設けている。各家族に毎月担当職員が手紙を出し利用者の情報を提供し、訪問時に家族が話しやすい関係ができるよう心がけている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングで職員の意見を聞くと共に個別に要望や悩みを聞いている。	毎月のスタッフ会議、朝のミーティング時以外にも機会があれば、サービス向上に繋がる意見や提案を出し合っており、利用者が楽しめるよう、新人の職員の発案で、昔ばなしの紙芝居を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課にて実績の評価を行い、自由記述にて条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ドクター・看護師を交えた医療に関する勉強会を月1回行い、法人の勉強会・スタッフ会議での勉強会を行い、職員が参加できるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と交流を持つように努めている。同法人の相互訪問活動を通じ、質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前面接で本人の生活状態を把握し、家族様にも協力して頂き、年代別背景や好きな物・嫌いな物シートを記入して頂き、本人が不安なく過ごせるように配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様に困っている事や不安な事、要望等を聴き関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族様の思いを確認しながら、状況に応じた支援を行っている。場合によっては他のサービスの利用を含めた対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自分で出来ることはして頂きながら、24時間共同生活を営んでいる。利用者、職員支え合いながら生活している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時など本人の様子を伝え、家族様の意向を聴きながら、家族様の協力のもと本人を支える支援に取り組んでいる。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様以外にも知人の方がたまに面会に来て下さっている。馴染みの人や場所との関係が途切れないように、家族様にも協力して頂いている。	手紙や年賀状の宛名書きを手助けし、便りの交換で馴染みの人との関係を継続している。ドライブの際に利用者の以前の住まいや馴染みの場所を訪れることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の生活を見据えた上で利用者同士が上手く関わりあえるように支援している。		

【事業所名】紀三井寺苑グループホーム【ユニット名：I 号館】

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された後も、面会に行き様子を伺うなど、アウターケアに努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中で本人に問いかけたり、うまく伝えられない方には、その時々表情や言動から推し量り把握に努めている。利用者の言葉は生活シートに記入している。	利用者それぞれに担当者を決め、食事の時やソファでくつろいでいる時に隣に座り、利用者の思いが聞けるような関わりを心掛けている。家族からも利用者のことを聞く機会を持ち、思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らし方については、予めシートに記入して頂いたり、家族様や利用者本人から聞き取ったりして少しでも多くの情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活を1日の流れの中で捉え、心身の状態や本人の出来る事・分かる事に注目し、その人全体の把握に努める。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族様の意向を取り入れ、今その人に何が必要か職員間で検討し、その人らしさを大切に介護計画を作成している。	利用者の言葉や日頃の様子を記録した生活シートの内容を元に、家族にも相談しながら、一人ひとりの持てる力を活かせる介護計画を作成し、毎月、利用者3名ずつの計画を見直して検討している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者それぞれについて、生活の様子や心身の状況、ケアの実践と結果などを記録し、職員間で情報を共有して見直しにも活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携体制を活かし、特変時でも訪問診療や訪問看護を利用しながら、出来る限り本人や家族の望む生活を継続していけるように支援している。		

【事業所名】紀三井寺苑グループホーム【ユニット名：I 号館】

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防、地域のボランティアなどと協力しながら、安全で豊かな暮らしが送れるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族様の希望によりかかりつけ医を選んで頂いている。かかりつけ医とは連絡を取り合い関係作りを行い、適切な医療を受けられるよう支援している。	利用者の希望する、かかりつけ医と連携を取り、以前からの、かかりつけ医の往診を受けている利用者もいる。事業所の協力医療機関では月2回の往診を受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の看護師や訪問看護師と気軽に相談しながら、日々の健康管理や状態変化に応じた対応を行えるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際は、できるだけ安心して過ごせるよう、またできるだけ早期に退院できるように、病院関係者と情報交換や相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、本人、家族様、主治医、看護師、スタッフと話し合いを行っている。グループホームでできる医療的処置の範囲を伝え、重度化した場合には系列の特別養護老人ホームへの支援も行っている。	ホームでの看とりは行わない方針ではあるが、運営推進会議の議題にも取り上げ検討している。本人、家族の意向を聞いて十分話し合い、医師、看護師、職員のチームで支援に取り組み、必要時には法人の特別養護老人ホームへの入所支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防などの協力を得て、他部署合同で定期的に救急法の訓練を行っています。グループホーム内でも勉強会をして実践に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力により、避難訓練や救急法の講習を設けている。職員には、災害時の役割分担をきちんと決めている。	災害時の昼、夜のマニュアルを作成し、全職員で共有している。同じ敷地内にある同法人の特別養護老人ホームが災害時の地域の避難場所になっており、特養施設と合同で避難訓練をし、備蓄もしている。	地域住民や消防署の協力が得られるように運営推進会議にも取り上げるなどして、防災教室や地域住民を交えた避難訓練等で災害に備えることができることを期待する。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の個性を見極め、一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーに留意した声かけや対応に努めている。	尊厳を損ねるような不適切な言葉掛けが無いように職員同士が互いに気をつけ、日常の業務の中で不適切と思われる言葉掛がみられた時には注意するようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	おやつには選択できるような工夫を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に希望や要望に耳を傾けた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回美容師の訪問があり、希望の利用者は好みの髪型に切って頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは利用者の希望を聞きながら職員が考えている。利用者と職員と一緒に食事をし、片づけ等も一緒に行っている。	天気の良い日は、事業所の庭にテーブルと椅子を出し、焼きそばや、ホットケーキを作ったりして、楽しめる工夫がされている。餃子の皮包みや食器の片付けなど、利用者に応じた力を発揮できるよう取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量、水分量は把握している。栄養バランスには注意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの声かけ、ポリデント洗浄のケアを行っている。		

【事業所名】紀三井寺苑グループホーム【ユニット名：I号館】

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせ負担にならないような誘導、声かけを行っている。	チェック表で排泄パターンを把握して、一人ひとりに合った支援を行っている。排泄の自立を保てるよう、夜間は必要な利用者にはポータブルトイレも使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表に記入し、便秘予防に水分強化や散歩等の支援を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は利用者の希望やタイミングに合わせた支援を行っている。	入浴はプライベートな時間として、ゆったりと自分のペースで入ることができるよう支援している。入浴を嫌がる場合は声掛けの工夫で入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの状態に応じ生活リズムを整えるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルにお薬内容を付け、薬の目的や副作用を提示し職員全員が把握するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活を楽しんで頂く為に、希望者には買い物、ドライブ、散歩、カラオケなどの支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブ、買い物、散歩等日常的に外出できるように支援している。	事業所の周り是一片の野菜畑なので、季節を感じながら、職員と散歩に出かけている。近くのスーパーで買い物をすることも。桜の季節には車で出かけ、みんなでお弁当を広げることもある。	高齢化に伴い、外出が困難になってきた利用者もいるので、利用者に応じた外出支援の工夫を期待する。

【事業所名】紀三井寺苑グループホーム【ユニット名：I 号館】

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持たれている方には、要望があれば買い物に行けるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に電話できるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、ダイニングには季節感を取り入れた飾りつけを行っている。居心地良く過ごして頂けるように採光にも気を付けている。	共同空間の南向きの窓は日光が眩しくないように時間帯に合わせてカーテンやブラインドで加減をしている。居室と居間の間に手すりのついた長い廊下があり、廊下の行き来が生活の中でのリハビリとなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思い過ごせるような居場所作りの工夫は随時行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には好きな物やなじみの物を置くように家族様に協力して頂いている。	居室の入り口には木製の表札と利用者の好みに応じた「のれん」がかけられている。広いクローゼットがあり、室内はゆったりと落ちつく空間となっている。利用者の作品や写真等が飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの利用者のできる事、わかる事を活かし自立できるよう工夫している。		